

会議録

1 会議名

令和7年度 第8回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的審議事項について

3 開催日時

令和7年12月10日（水）午後6時30分から午後7時31分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第一会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：池亀委員、市川委員、上野委員、崎田委員、瀧本委員、田中会長、田邊委員、原委員、本多委員、山田委員、山谷委員、吉田（実）委員、吉田（義）委員、渡部委員（欠席5名）

- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【田中会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【田中会長】

- ・会議録の確認：吉田(義)委員に依頼

次第3議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。

前回は、3つのグループで「子どもたちが愛着を持てる春日」、「誰もが誰かとつながっている春日」に関する正式なテーマ名称を検討した。それぞれの検討結果は、前回発表と事前送付した資料No.1のとおりである。会長、副会長で預かり協議した結果、次のとおりのテーマ名称とすることを承認いただきたい。

まず、全てのグループの共通事項として、当初のサブテーマ「子どもたちが愛着を持てる春日」、「誰もが誰かとつながっている春日」のままでよいとの意見を持ったまま、検討を進めた。

その上で、テーマ①「子どもたちが愛着を持てる春日」は、大人から子どもへ継承していくことが大切であるというポイントと、春日中学校の生徒が揃いのTシャツで「春日愛」を掲げて地域で活動していることから、テーマ①は「子どもたちが愛着を持てる春日～春日愛の継承～」とすることを提案する。

次に、テーマ②「誰もが誰かとつながっている春日」については、春日区の独自性あるやり方で将来を見据えた取組になるよう、また、テーマ①とも整合のある言葉とするため、Cグループの案から「誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～」とすることを提案する。

何か質問はあるか。

【吉田(実)委員】

もっと具体的な活動テーマを検討すると思っていた。これはテーマではなくキャッチフレーズではないか。春日区として、こういうことを取り組んでいくというのが、具体的な政策になっていくと思う。もう少し具体的なテーマについて、これからしっかり審議していただきたい。

【田中会長】

サブテーマである「子どもたちが愛着を持てる春日」、「誰もが誰かとつながっている春日」に対して、メインテーマを決めるということで進めていたが、結局、2回の協議会で協議した結果、やはりこのテーマで進めるということになったという経緯は、委員の皆さんも御存じかと思う。

【吉田(実)委員】

春日区として、この2年間、現状や問題などについて順序立てて進めてきたが、春日区のためになる具体的な施策をしっかりと皆さんと議論したいと思う。

【田中会長】

他に質問はあるか。

(発言無し)

それでは、自主的審議事項のそれぞれのテーマ名称を「子どもたちが愛着を持てる春日～春日愛の継承～」、「誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～」としてよいか。賛成の委員は拍手をお願いしたい。

(拍手多数)

それでは、自主的審議事項のテーマ名称を「子どもたちが愛着を持てる春日～春日愛の継承～」、「誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～」に決定する。

次に、具体的な解決策について検討する。本日の進め方について事務局へ説明を求める。

【渡邊係長】

・資料No.2に基づき説明

本日決定したテーマ名称は、春日区が取り組む自主的審議事項のテーマとして、市ホームページに掲載する。

今回からは、皆さんから提案のあった解決策などを具体的にどのように進めるかを協議する。本日はテーマ①について、全てのグループが、同じテーマに取り組んでいただく。ファシリテーター、タイムキーパー、書記、発表等は事務局が担う。

Aグループ：池亀委員、崎田委員、田辺委員、山谷委員、渡部委員

Bグループ：市川委員、瀧本委員、原委員、山田委員、吉田(実)委員

Cグループ：上野委員、田中会長、本多委員、吉田(義)委員

【田中会長】

本日の進め方について、質問はあるか。

【吉田(実)委員】

各グループの発表の後、全体の方向付けのために、皆さんでディスカッションする時間を作ってほしい。その後に正副会長と事務局で内容をまとめてほしい。

【田中会長】

ディスカッションする時間は作るが、時間がかかる可能性もある。

【吉田(実)委員】

一番重要な具体的な施策をこれから検討するので、しっかり審議していかないといけない。本日審議しきれなければ、全体協議は次回に時間を作ればよいのではないか。

【渡邊係長】

効率的に時間を使い進行する。

【田中会長】

他に質問はあるか。

(発言無し)

それでは、具体的な解決策について、グループで協議する。

(各グループに分かれて協議)

【田中会長】

事務局から各グループの協議事項を報告する。

C グループ

【渡邊係長】

当初、春日村歌に着目したが、グループ内で春日村歌を知っている人がいなかった。そもそも、大人たちが知らないものを子どもたちに知ってほしいということは継承にはならない。それならば、春日山節の方が地域で馴染みがあり、歌い出しに謙信公という名がついていた方が春日区外で謙信公が好きな方などにも興味を持ってもらえ、謙信公の顕彰にもなるということで、春日山節の普及に着目した。時期(いつ)、場所(どこで)、実施者(誰が)については、音楽なので聞き流して知らないうちに擦り込まれていくのが理想ということで、いつでも、どこでもと考え、駅や公共の施設などで、可能な限り放送してもらうことを提案する。対象(誰に)は、なるべく小学生以下の子どもの頃から耳に入るようしたいが、ただ聞き流すだけではなく、できれば学校の運動会などで音楽を流して踊ったりすることで、家庭内の話題にもなる。町内会の運動会にも使っていただくななど、町内会の行事等で春日山節を流し、踊ってもらうことなどもできるのではないか。

B グループ

【鈴木主事】

B グループからは、次の二つが発案された。

まず、新しく謙信公に関する曲を作る。時期(いつ)は来年度中ぐらい、場所(どこ

で）は春日区を中心とした地域、実施者（誰が）は、春日区を中心市予算の付き方等で検討する。対象（誰に）は春日区を中心とした市民。作曲後にY o u T u b eでの配信や学校の生徒等に配布し、愛着を深めていただく。

次に、謙信公検定についても検討した。実施方法（どうする）については、上級、中級、初級に分けて、月に数回、定期的に講座を開催し、謙信公について学ぶ機会を作り、最終的には検定を受験し、学んだ成果を皆さんに実感してもらう機会にする。実施者（誰が）については、謙信公に詳しい花ヶ前先生を中心に皆で問題を作成する。高志小学校区と春日小学校区では、謙信公への知識や熱量に差があるという意見もあるが、この活動により、その差も縮まっていくのではないか。

Aグループ

【村山副所長】

子どもたちから春日に愛着を持ってもらう方法として、「春日かるた」の作成という発案があった。昔、「上越市かるた」というのがあり、参考にしてはどうか。時期（いつ）は、取り掛かれるならすぐに行動に移したい。場所（どこで）は、春日区に関する内容なので春日区。実施者（誰が）は、上杉おもてなし武将隊という意見も挙がったが、後々の販売等を考慮すると、上越観光コンベンション協会ではないかという意見が挙がった。対象（誰に）は春日区の住民。物（何を）は、かるたの作成。実施方法（どうする）は、作成して配布するに当たり、文面や絵などは、住民や小中学校の児童・生徒から、アイデアを出してもらい作成してはどうか。数量（どれくらい）については、児童生徒への配布分と春日区全世帯に配布できる数。経費（いくら）は1個1,000円程度で販売し、欲しい人から購入してもらうという意見もあった。

【田中会長】

各グループの発表内容について、質問、意見はあるか。

【渡邊係長】

Cグループでは、春日村歌をさんは知らないとのことであったが、聴いてみたら実は知っていることもある。次回の地域協議会では、委員研修として春日村歌を流したり、他にもそういうものを皆さんで持ち寄り、実際に聴いてみたり、音頭を踊れる方は踊っていただいたりなど、そういう内容の会にする予定である。皆さんに知ってもらいたいものがあれば、ぜひ次回お持ちいただきたい。

【池龜委員】

春日村歌を知らない人は多いと思うが、この協議会の委員に「春日村歌を歌う会」の会員が4人いる。以前は、小中学校の運動会でも歌っていた。最近はあまり機会がないが、私たちが舞台に上がり歌ったりしていた。あの歌は、春日について全て分かるものになっており、一番よいと思う。

【渡邊係長】

次回は、そういうものを実際に皆さんで確認する作業をしたいと思う。

【山田委員】

ご当地かるたの提案として、春日小学校と高志小学校の児童たちに、読み札の文章を考えてもらい、それを集約して作成してはどうか。

【原委員】

群馬県には「上毛かるた」があり、多くの県民が暗唱できる。地域の一体感があるからこそ、それができると思う。一方で上越市は平成17年の合併で1市13町村が一つになったので、ここに住んでいる人の他区に対する思い出は少ないと思う。それでも一つになったからには、同じ市民として生活していくかなければいけない。そこで新しいかるたを作るのであれば、いろいろな地域のモチーフを持ち寄って仕上げないと、なんで作ったのかということになりかねない。そのことを考慮して作成し、それを普及させることによって、13区についても勉強になれば、ひとつのコミュニティとして物になってくるのではないか。

【渡部委員】

昔あったと言われるかるたについて、調べる方法はないのか。

【渡邊係長】

次回はお正月に開催するので、かるたを見付けられた方は持ってきていただき、皆さんで遊びたいと思う。私たちも探すが、ぜひ皆さんにもお願いしたい。

【吉田(実)委員】

今後の進め方について、会長か事務局から補足説明をお願いしたい。

本日3グループから出たアイデアを一つにまとめるのか、前期のように3つぐらいのグループを作って進めていくのか。また、今日は概略までであったので、もう少し具体的な話をしっかりと聞きたい。B班では謙信公検定と、市民が歌えるものに謙信公のストーリーも少し織りこんで、春日ならではのものを作っていたらどうかということで提案した。もう少し段階を踏んで、本日の資料のフレームのように、もう少し具体的に分か

るようなものを作つて、討議していければと思う。他にもアイデアがあつたかも知れないで、それも含め、審議していければと思う。

【山谷委員】

次の委員研修はお正月なので、春日村歌は歌える人に歌つていただくのはどうか。

【田中会長】

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

今回の意見を整理して、次回資料として示す。また、次回はテーマ②に進む。

以上で次第3議題「(1)自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4その他「(1)次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

次月、委員研修を実施予定。市からの報告案件等がある場合は、地域協議会を開催することとする。

【渡邊係長】

- ・委員研修の内容について説明

【村山副所長】

・次の2月の地域協議会の日程について、定例の第2水曜の2月11日が祝日のため、会場は市民プラザ、2月10日(火)午後6時30分から開催。

【田中会長】

以上で次第4その他「(1)次回開催日程」を終了する。

次に、次第4その他の「(2)その他」に入る。

その他、何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。